資料３－２

オルタナティブ投資の取組状況等について

令和8年11月16日

国家公務員共済組合連合会

１．KKRのオルタナティブ投資の現状等について

（１）オルタナティブ投資の位置付け

オルタナティブ投資については、ポートフォリオの分散効果及び収益源泉の多様化が期待されることから、流動性やリスク管理に十分留意しつつ、段階的かつ着実に取組みを進める。今後、良質な投資機会の確保、運用ノウハウの蓄積及びリスク管理態勢の高度化を図りながら、長期的な観点から取組みを推進していく。

- オルタナティブ投資は、伝統的資産とは異なるリスク・リターン特性を有していることから、ポートフォリオ全体の分散効果を通じた運用効率の向上が期待される。

- オルタナティブ資産（不動産、インフラストラクチャー、プライベート・エクイティ等）への投資を通じて、伝統的資産とは異なる収益源泉を取り込むことにより、ポートフォリオ全体の分散効果の向上を図るとともに、中長期的な観点から運用効率の向上を目指す。

- 年金積立金は長期的な運用を前提としていることから、短期的な市場変動や流動性のみに着目するのではなく、中長期的な観点から運用効率の向上に資する投資機会を活用することが重要と考えられる。

- オルタナティブ資産への投資にあたっては、流動性や透明性等に配慮しつつ、運用体制・管理体制の充実を図りながら、段階的に投資対象及び投資機会の拡大を検討していく。

１．KKRのオルタナティブ投資の現状等について

（２）オルタナティブ資産の投資状況

＜2025年度末の投資状況＞

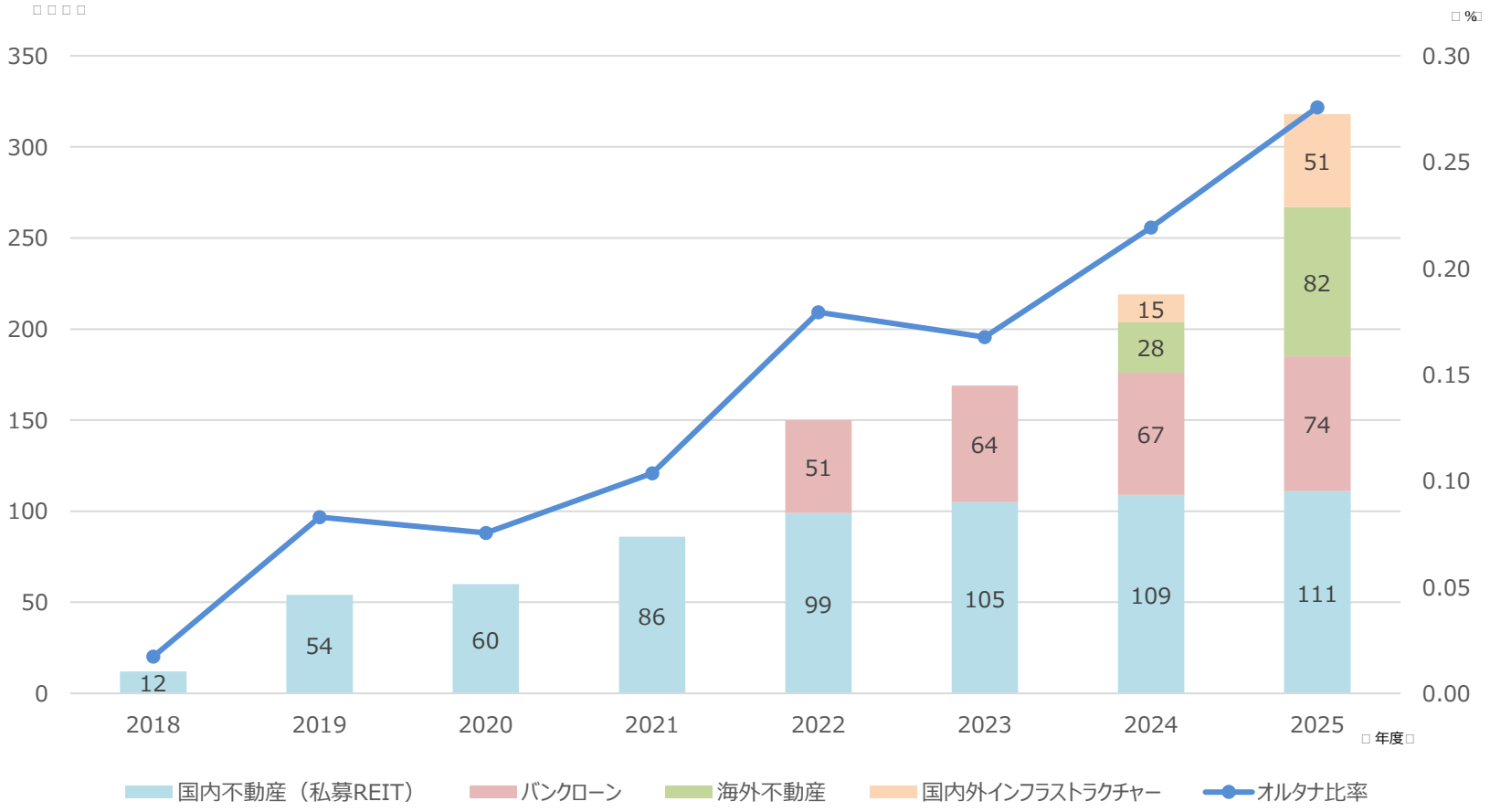
資産区分	投資内容	資産時価	収益率	開始時期
国内債券	国内不動産（私募REIT） （国内のオフィス、賃貸住宅、産業施設、商業施設等を対象とするファンドへの分散投資）	１１１.4億円	6.66%	2019年1月
外国債券	バンクローン （米国のバンクローン（複数の金融機関が協調して融資を行う貸付債権）への分散投資）	７４.0億円	10.20%	2022年6月
外国債券	海外不動産 （グローバルの産業施設、賃貸住宅、オフィス、商業施設等を対象とするファンドへの分散投資）	８２.0億円	19.99%	2024年6月
外国債券	国内外インフラストラクチャー （グローバルの水道、電気、ガスなどの安定稼働資産を中心とする経済インフラファンドへの分散投資）	５１.1億円	22.62%	2024年6月
合　計　額		３１８．５億円	11.25%	

2025年度末オルタナティブ投資比率	0.28%　（318.5億円／１１.5兆円　≒　0.28%）

※　収益率は、時間加重収益率、運用手数料等控除前。

1．KKRのオルタナティブ投資の現状等について

（３）オルタナティブ資産の推移（時価・比率）



２．オルタナティブ投資の進め方等について

（１）投資対象・方向性等について

①　投資・検討の対象とするオルタナティブ資産

当面の投資対象資産は、以下のとおり。

オルタナティブ資産	
当面の投資対象	・ バンクローン ・ インフラストラクチャー（国内外） ・ 不動産（国内外） ・ プライベートエクイティ（国内外）

②　当面の取組みの方向性について

当面は、市場環境、投資機会、運用体制等を総合的に踏まえながら、以下の取組みについて検討・推進する。

- 既存の投資対象資産について、投資機会や投資案件の投資状況を踏まえつつ、着実な投資実行を図る。
- 既存の投資対象資産について、モニタリング状況等を踏まえ、投資枠の拡大を検討する。
- マネージャー・エントリーにて募集を行い、選定手続を進めている投資対象資産について、審査等の選定を完了し、投資機会の確保に努める。
- 投資実績のないプライベート・エクイティ等、投資対象資産の多様化について検討を進める。
- 市場環境や投資ニーズ等を踏まえ、新たな投資対象資産及び投資手法について調査・研究を行う。

③　オルタナティブ投資の実践を通じた取組み等について

- 運用ノウハウ及び経験の蓄積
- リスク管理体制及びモニタリング機能の強化
- 年金積立金の流動性への影響の確認
- 運用の高度化につながる人材育成等

２．オルタナティブ投資の進め方等について

（２）オルタナティブ投資に係る取組み状況等

① マネージャー・エントリーによる運用受託機関の募集

2025年10月に、バンクローン及び国内プライベート・エクイティを対象としたマネージャー・エントリーによる募集を開始し、現在、委託先候補の選定を進めている。

② 資産運用委員会での審議

外部の学識経験者等で構成される資産運用委員会において、オルタナティブ投資の運用状況や課題等について審議を実施し、委員から意見等を聴取している。

＜直近の議題＞

- 2026年６月　令和７年度オルタナティブ投資の状況について
- 2026年８月　オルタナティブ投資の現状と今後の課題

③ 資産運用実務経験者採用の募集開始

オルタナティブ投資を含む運用体制の強化を図る観点から、資産運用実務経験者の募集を開始している。これにより、運用ノウハウの蓄積や専門性の向上を図るとともに、運用・リスク管理態勢の高度化が期待される。

- 2026年８月　KKRホームページの年金資産運用のページにて、募集開始